

# 「学生によるものづくり実践プロジェクト」募集要項

テーマ：「安全・安心・豊かな社会環境の創出」

## 1. テーマの背景

21世紀は環境の時代と言われて久しく、自然環境と調和した持続可能な循環型社会の実現に向けた様々な取り組みが行われています。そこでは、工学系の「ものづくり」に対する発想も柔軟になることが求められます。そうすれば、技術者は「安全・安心で豊かな社会環境」の創出にもっと貢献することができるでしょう。工学部「創成能力育成・技能伝承教育の実践，拡大」事業として上記のテーマで「学生によるものづくり実践プロジェクト」を募集しますので、以下の要領で多数応募して下さい。学生有志の柔軟な発想を期待します。

### 【プロジェクトの参考例】

- ・安全安心な公園の模型製作／歴史的建造物の復原模型の製作
- ・安全安心なエコ社会創出のためのエネルギー効率の高い乗り物製作
- ・ウェアブル（身体装着型）発電システムの開発
- ・キャンパス内交通ルール遵守に電気・電子技術を利用／真空管によるステレオアンプの製作
- ・CGを用いた金沢大学ハザードマップの作成／身近な安全・安心のための便利ソフトウェアの作成
- ・身近な化学製品・モノ作りの改良アイデア（超吸水タオル・リバーシブル靴下）

## 2. ものづくりプロジェクトの要件

### (1) 「もの」とは

テーマに関連する「もの」であれば、作品はハードまたはソフトの何れも可とします。

### (2) 応募資格

- 1) 金沢大学工学部（2年～4年）および博士前期課程（工学系1年，2年）の学生とする。
- 2) チームの構成は複数名（3～5名を推奨）とする。
- 3) チームメンバーの所属する学科，専攻，学年は問わない。
- 4) 同一人が複数のチームに参加することは認めない。
- 5) ものづくりのデザイン評価を担当するメンバーとして，金沢美術工芸大学の学生1名以上が参加することを推奨する。なお，金沢美大生の参加募集については，1次審査（企画書審査）後にプレゼンテーションの機会を主催者が設ける。
- 6) 協力教員1名を依頼する。
- 7) 学生は「学校教育研究災害傷害保険」に加入していること。
- 8) 協力教員の指導による研究や卒業研究等に類すると判断されるものは望ましくない。

### (3) 製作（制作）の経費・設備等

- 1) 1件当たり15万円を上限とし，企画書の提出時に内訳概算額を申請する。
- 2) 加工・制作のために技術支援センターの利用が可能で，その使用料については同センターと相談の上，概算額を申請する。
- 3) 製作ヤードの確保については協力教員に協力を依頼する。

### (4) 製作（制作）品の著作権・使用权等

- 1) 製作（制作）品の著作権は基本的にチームに帰属するが，大学側の使用を妨げない。
- 2) 製作（制作）のために予算措置した什器等は返却し，大学または協力教員が保管する。

### 3. 審査

審査は，1次審査（企画書審査）と最終審査に分けて実施する。

#### （1）1次審査

- 1) 各チームは企画書を提出する（この時点ではメンバーに金沢美大生を含まなくてよい）。
- 2) 1次審査では，応募のあった企画書から6件程度が選出される。
- 3) 金沢美大生の参加募集のために，1次審査で選出されたチームによるプレゼンテーション（10分程度）を行う。

#### （2）最終審査

作品の提示とプレゼンテーションを行う。

### 4. 応募方法

#### （1）企画書の提出

- 1) 企画書（様式1，2）を提出する。
- 2) 様式1（A4）には，①プロジェクト名，②メンバー名・所属，③協力教員名，④「ものづくり実践プロジェクトのテーマ」に関連づけた作品のコンセプト，⑤製作（制作）費の概算内訳を記入する。
- 3) 様式2（A4・1～3枚数）には，製作（制作）概略図面，工程計画等を記述する。
- 4) 提出先：工学部学務係（受付）
- 5) 締め切：平成20年11月14日（金）17：00
- 6) 問い合わせ：工学部総務係（橋本副課長・Tel. 076-234-6820）

### 5. 審査員および審査方法

#### （1）審査員

「創成能力育成・技能伝承教育の実践，拡大」事業運営委員会委員

#### （2）審査方法

1次審査，最終審査とも，審査は審査員の協議による。

### 6. 日程

- （1）募集要項公表・配布：平成20年10月22日（水）
- （2）企画書の提出締切：平成20年11月14日（金）17：00
- （3）1次審査と結果発表：平成20年11月28日（金）
- （4）金沢美大生の参加募集のためのプレゼンテーション：平成20年12月？日
- （5）最終審査と結果発表：平成21年3月19日（木）

### 7. 表彰

最優秀賞 1件：賞状および副賞A（1人最大30万円・総額120万円相当の調査旅費\*）

優秀賞 1件：賞状および副賞B（1人最大10万円・総額40万円相当の調査旅費\*）

技術賞 1件：賞状および副賞C（1人最大5万円・総額20万円相当の調査旅費\*）

デザイン賞 1件：賞状および副賞D（1人最大5万円・総額20万円相当の調査旅費\*）

\*調査派遣先はチームの希望によるものとし，平成21年4月～9月末の期間に実施する（公欠扱いにはならない）。参加者はチームメンバー全員を原則とし，派遣時に金沢大学または金沢美術工芸大学に在籍する学生であること。なお，報告書の提出を要する。